

400号の節目に立ち、新たな未来へ



西の丸
代表取締役社長

西谷 淳

皆様、こんにちは。

まず始めに、先月末に発生した台風10号により被害を受けられた皆様に、心からお見舞い申し上げます。当社では、被災された地域の方々への人的支援を行っております。何かお手伝いできることがございましたら、どうぞお気軽にご連絡、ご相談ください。共にこの困難を乗り越えていけるよう、全力を尽くして参ります。

さて、西の丸新聞第1号（1991年5月号）の発刊から、今月2024年9月で私たちは社報の記念すべき400号を迎えました。この33年と5ヶ月（33年×12ヶ月＋5ヶ月＝401）の間、一度だけコロナ対応で2020年5月号と6月号を合併した以外、毎月発刊してきたようです。この特別な節目にあたり、過去を振り返りながら、これからの未来に向けての思いを新たにすることをしたいと思います。

社報は、私たちの会社の歴史だけでなく、成長と変革の記録でもあります。

当時、私の家内がセンター店で勤務している時に編集した3ページの広報紙から西の丸新聞が始まった事や、西の丸新聞の前に1989年4月から不定期で社報を3号出していたこと等々はすっかり忘れていました。またある時は「西の丸ビデオレポート」として社内外をビデオカメラで録画取材し、ビデオ編集して動画として伝えたのは記憶しているところです。その後も様々な形式で情報を提供し、現在は広報紙として社内外のコミュニケーションに利用されています。

400号の今号では、そうした多彩な取り組みを振り返るとともに、私たちが直面する新しい課題にどう応えていくかを考えたいと思います。環境問題、技術革新、そしてグローバルな市場での競争は、直接的・間接的に私たちに常なる進化を求めています。そういった中で、

い夢や希望のある未来にする為に、社会に価値（ささやかな生きがい）を提供し、これからも持続可能でかつ革新的な事業活動を行うことが私たちの使命です。

そして何より、この社報が社員、お客様、そして地域の皆様との絆を深めることを願っています。共に働く仲間、支えてくれるお客様、共に生活する地域社会の皆様との日々のコミュニケーションを大切にし、お互いを支え合う関係をこれからも育んでいきたいと思えます。

皆様にとって、この400号が過去を振り返り、未来に向けて新たな一歩を踏み出す契機となることを願っています。引き続き、皆様のご意見やご感想をお聞かせください。夢に向かって共に進化し続ける私たちの旅は、これからも続きます。

今月も健康と幸せをお祈りし、皆様充実した日々をお過ごしになることを心から願っています。